

# 沖縄関係 沖 -1 ~沖 -20

## 沖 -1



文字パネル  
沖縄戦に於ける日本とアメリカの損害・軍勢力

## 沖 -2



文字パネル  
沖縄戦に関する主な出来事 1945年

## 沖 -3



上陸したあと、用心深く日本軍の様子をうかがうアメリカ兵たち (1945年4月・読谷)

## 沖 -4



前線へ向かうアメリカ軍の水陸両用戦車を横目で見ながら、幼い弟を背負って歩く少女 (1945年6月)

## 沖 -5



誰に持たされたのだろうか。木の枝に白い布を結びつけて出て来た白旗の子 (1945年5月)

## 沖 -6



座間味島の捕虜収容所に運ばれる朝鮮人捕虜たち (阿嘉島 1945年5月28日。) 阿嘉島・慶留間島にいた海上挺進第二戦隊には350名の朝鮮人軍夫がいたという。

## 沖 -7



米軍に助け出される人たち。この壕は10mの縦穴の下に1000mの横穴がつづき中には500人ももの住民が避難していたという。(1945年6月)

## 沖 -8



海岸には橋頭堡が築かれ、本格的戦闘に備えて米軍の軍事物資の陸揚げが始まった。比謝川河口付近を埋める米輸送船団 (1945年4月4日)

## 沖 -9



収容所では子どもたちを集めて青空教室が開かれた。生き残った先生と子どもたちの学習風景。(1945年5月)

## 沖 -10



上陸予定地に向けて猛烈な艦砲射撃を行なう米戦艦。米海軍が陸上に向けて発射した6インチから16インチ砲の砲弾の数は101,300余発。

# 沖縄関係

## 沖 -11



一面ガレキの街と化した首都・那覇。中央の建物は当時の天妃小学校。

## 沖 -12



砲撃による死か、集団自決か。いずれにしても沖縄戦では、多くの住民たちが死に追いやられた。(1945年4月)

## 沖 -13



にわかづくりの捕虜収容所に集められた日本軍の捕虜。(1945年6月 小禄)

## 沖 -14



摩文仁の守備軍司令部壕内で自決した牛島中将と長参謀長。日本軍の組織的戦闘が終わった(1945年6月23日)

## 沖 -15



ハワイ行き捕虜移送船の待つ棧橋へ向かう守備軍の捕虜たち。

## 沖 -16



占領した飛行場を守るための、米軍のすさまじい対空砲火。(1945年4月16日 読谷飛行場)

## 沖 -17



洞窟から救き出される子どもを抱いたお母さん。この子の泣き声で、アメリカ兵に発見された。(1945年4月)

## 沖 -18



通りすぎていくアメリカ軍の戦車のあとに残された日本兵の死体。(1945年4月)

## 沖 -19



義烈空挺隊の97式重爆撃機一機が読谷飛行場に胴体着陸に成功、その隊員によって破壊された米軍機の残骸。(1945年5月)

## 沖 -20



亀甲墓の前で、アメリカ兵にねらい撃ちにされてしまった日本兵。(1945年5月)